

## 『真理から存在へ』の概要と課題

秋葉剛史 (Takeshi Akiba)

成城大学

本発表では、拙著『真理から存在へ』の大枠を紹介し、後の議論のたたき台を用意する（そのおおよその内容は本ワークショップの「全体要旨」を参照のこと）。そのうえで時間に余裕があれば、今後の課題について若干の所見を述べる。

本発表の流れは次のとおり：最初に、拙著におけるいくつかの基本概念（「トロープ」、「真にするもの」など）について確認する。次に、拙著で私が全体として達成しようとした目的を述べたうえで、各章の内容をその目的に結びつけて説明する。最後に、拙著において議論が不十分だったと思われる点、またさらに展開が可能だと思われる点などを、今後の課題として挙げる。

当日は、多くの方が興味を感じられ、いろいろな角度から意見が出るような活発な議論の場を作ることに貢献したいと思っている。